



西中通信

＜発行＞
川崎市立西中原中学校
令和2年度
第3号
令和2年9月14日(月)

NEVER GIVE UP

校長 安部 賢一

未曾有のコロナ禍のなか、8月30日から広島・京都を訪れた3年生の修学旅行、9月1日から八ヶ岳山麓をフィールドに活動した1年生の自然教室に続き、先週9月11日には、本校の創立以来続く伝統の体育祭を開催することができました。ここまで大勢の保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力を賜りました。心より感謝申し上げます。

本校史上初めて広島を訪れる今回の修学旅行のプランは3年前よりスタート。2年前に団体専用列車（新幹線）と京都市内のホテルを予約し、昨年12月の実地踏査を経て、今年5月に実施する予定でした。

これが臨時休業によって急きょ日程を変更し新幹線や宿泊先を取り直して6月末に再度、現地調査をすることになりました。何といても総勢450名近い日本最大級の修学旅行団です。課題は山積でした。新幹線は一般車両となり、同じ便に全員分の座席が確保できませんでした。初日の広島-京都間は11クラスが3つの新幹線に分乗する事態となりました。

宿泊先は当初、京都市内中心部にあるホテル本能寺会館でしたが、そこから約1時間も離れた亀岡市の山中にある湯の花温泉、溪山閣に変更しました。自然教室かと思うような緑に囲まれた温泉宿でした。

そして、食事や宿泊室、見学、体験活動など、ほぼすべてのプログラムの見直しが必要となりました。コーディネートしてくれたJTB川崎支店をはじめ、訪問先の自治体、宿舎先の溪山閣

JRや観光バスなど交通各社、見学、体験施設など、関わった人たちの膨大な手間とエネルギーがかかっていることを生徒たちも感じ取ったことでしょう。現地では今年度初めての修学旅行団体だと言う方も少なくありませんでした。

1年生の自然教室も同じです。こちらも当初5月に予定されていましたが、もともと1学年は教員も生徒も新しい顔ぶれですから、ほぼすべてが新年度になってからの計画立案です。ところが、いきなり臨時休業で年度が始まりましたから計画の立てようがありません。実地踏査など本格的な動きは6月になってから。修学旅行を上回る450名を超える集団活動を1からプランニングすることになりました。

そして、先週末の第74回体育祭。全校生徒1300名が参加する西中三大行事のひとつです。

こちらはまず最初に、お詫びしなければなりません。日程を1日繰り上げて平日開催とし観覧者の入場制限をしなくてはなりませんでした。そのため、例年は2000名を超える入場者を、今年度は事前登録していただいた3年生の保護者のご家族約800名に限定させていただきました。1、2年生の保護者の皆さんや当日お越しいただいた未登録者の皆さん、本当に申し訳ございませんでした。

一方、PTAやボランティアの皆さんには観覧者の入場整理や記念写真の撮影を一手にお任せできたおかげで、教員は生徒の指導に専念することができました。ボランティアに応募してくださった保護者の皆さんが大勢いたためPTA

で抽選したと聞いています。本当にありがとうございます。

コロナ禍の体育祭でしたが、入場行進、部活動紹介や応援合戦、2、3年生の組体操とダンス、1年生の徒手体操「祭」など、競技種目だけでなく演技種目を含めてプログラムのほぼすべてを実施することができました。

もちろん、応援席から演技内容まで1から見直し、ひとつとして昨年と同じものはありません。組体操では互いに向き合う演技を避け、最後に全員がトラック上に並んで数珠つなぎのサポテンをやる姿に新時代を感じました。

練習時間は例年の半分以下、試行錯誤しながら迎えた当日でしたが、体育祭実行委員長の3年6組Sさんが開会式で、「体育祭が中止になる中学校もあるなか、この場を用意してくれた先生方や保護者に感謝して、この体育祭に臨もう。」といった趣旨の挨拶をしてくださいました。感動の倍返しをされた気分でした。

修学旅行も自然教室も体育祭も、今年のイベントに共通しているのは本当に実施できるのかぎりぎりまで分からないことでした。私も内外の社会情勢や感染状況に神経を尖らせる日が続きました。中止にしたほうが圧倒的に楽でしたが、本校の教員と生徒は、実施できる可能性が1%でもある限り最後まで諦めない姿勢で準備をしてきました。6月1日の臨時休業明けから3ヶ月、まさにnever give up（決して諦めない）の日々でした。この経験はこれからの彼らの人生にとって、きっと大きな糧になってくれるだろうと思います。

～・～・～・～・～・～

次は大会19連覇がかかった今週末から始まる市総体、そして来月開催される文化祭です。しかし、現時点で10月30日に延期した合唱コンクールが会場の収容人数制限で再延期が避けられない情勢です。そのため「西中通信」前号（第2号）の裏面に掲載した年間計画のうち、後期（10月13日～）の教育課程を再編成いたします。改訂版は近日中にお知らせします。なお、10月については右の行事予定が最新情報ですのでご注意ください。

9月・10月の行事予定

○は給食実施
数字はその学年のみ給食実施
△は弁当持参（一部生徒）

9月 最終下校 18:00 10月 最終下校 17:30

日	曜	9月行事予定	昼食	日	曜	10月行事予定	昼食
1	火	3年修学旅行③ 1年自然教室①	2	1	木	三者面談①	○
2	水	3年生回復措置 1年自然教室②	2	2	金	英検(全年対象, 希望者)	○
3	木	1年自然教室③	23	3	土	市総体⑦	
4	金	1年生回復措置	23	4	日	市総体⑧	
5	土			5	月		○
6	日			6	火	三者面談②	○
7	月		○	7	水	三者面談③	○
8	火		○	8	木	三者面談④, 尿検査(二次)	○
9	水	体育祭予行	○	9	金	前期終業式	○
10	木		○	10	土	市総体⑨	
11	金	第74回 体育祭	○	11	日	市総体⑩	
12	土			12	月	秋休み	
13	日			13	火	後期始業式	○
14	月	教育実習開始	○	14	水		○
15	火		○	15	木		○
16	水	生徒会各種委員会 生徒会役員選挙公示	○	16	金		○
17	木	眼科検診	○	17	土	市総体⑪	
18	金	尿検査・市総体出行人会	○	18	日	市総体⑫	
19	土	第74回 市中学校総合体育大会 (市総体) ①		19	月		○
20	日	市総体②		20	火		○
21	月	敬老の日 市総体③		21	水		○
22	火	秋分の日 市総体④		22	木		○
23	水	諸会費引き落とし	○	23	金	第45回 文化祭	○
24	木	眼科検診 生徒会評議員会	○	24	土		
25	金	3年進路説明会	○	25	日		
26	土	市総体⑤		26	月		○
27	日	市総体⑥		27	火		○
28	月		○	28	水	第53回 市中学校連合文化祭 (連文)	△
29	火	生徒会役員選挙	○	29	木		○
30	水		○	30	金		○
				31	土	市中学校駅伝大会 市総体閉会式	

※川崎市立学校の2学期制は教育委員会規則により、前期は4月1日から10月の第2月曜日まで、後期は10月の第2月曜日の翌日から3月31日までとなっています。

1・2・3年生の活動の様子

修学旅行 ～2. 5年間の学びの集大成～

8月30日(日)～9月1日(火)の期間で、生徒412名、教職員、スタッフを合わせた総勢441名が、広島・京都方面の修学旅行に行ってきました。感染症対策のため、例年とは比べ物にならないほどの手間と準備をしての実施となりました。広島では、平和記念公園を中心に慰霊碑巡りや平和記念資料館の見学を通して平和について自分の考えを深めました。京都では、日本の伝統工芸や文化の体験活動を通して、多文化共生社会における自国のアイデンティティを再認識しました。

生徒の皆さんは、中学校の学びの集大成である修学旅行を終え、様々なことを感じ、学んでいるようでした。今回の学びを、中学校の残りの生活のみならず、人生の未来予想図の1ピースとしていってもらえればと思います。



原爆死没者慰霊碑にて75年前の惨劇に思いを馳せる



大江能楽堂での能楽体験

校内ウォークラリーを実施しました

9月1日(火)、未曾有の臨時休業を耐えきった2年生に何か贈り物をしたい。学年職員が考案したのが、「校内ウォークラリー」でした。校内に設置したミッション等を班の仲間と協力して制限時間内に解いていきます。試行錯誤するなかで生徒の連携、協働が見られました。ウォークラリーの趣旨である「時間を意識した行動」「計画を立て協働する」ことを生徒は学んだようでした。今回の学びを、来年の修学旅行などに活かしていってもらえればと思います。



お題「おおきなかぶ」

自然教室に行ってきました

9月1日(火)～9月3日(木)、八ヶ岳の裾野まで自然教室に行ってきました。4月に会った仲間たちと同じ釜の飯を食べ、ようやく西中生らしさが身につく、仲間との絆が深まっていったのではないのでしょうか。様々なかたちで自然教室に参加した生徒がいます。参加の仕方ではなく、そこから何を学ぶのか。常に「Challenge」「Chance」「Change」の精神を忘れずにいてほしいと思います。



このあと木ドックを焼きました

第74回 体育祭を開催しました

9月11日(金)、第74回 体育祭を開催しました。練習時の灼熱のような暑さは幾分和らいだものの、それでもやはり残暑の陽射しは厳しいものがありました。

例年になく体育祭、言い換えれば生徒たちの多様な発想で創りあげることのできた体育祭でした。午前中部終了間際、見計らったような土砂降りがありました。ただでさえ濃い思い出の1ページが、さらに記憶に残る物になったのではないかと思います。

さて、今年度の体育祭の結果は以下のとおりとなりました。これまで「どうすれば体育祭を開催できるのか」を考え続けてきました。体育祭を終えたいま、これまでの過程と結果から何を学びとったのでしょうか。

○ブロック総合

総合優勝	水 ブロック (3年7組、2年1組、1年1組)
準優勝	黄 ブロック (3年10組、2年11組、1年3組)
3位	茶 ブロック (3年4組、2年2組、1年6組)

○応援賞

最優秀賞	緑 ブロック (3年11組、2年3組、1年5組)
優秀賞	橙 ブロック (3年8組、2年10組、1年2組)
優良賞	赤 ブロック (3年1組、2年6組、1年11組)

○学年総合

1学年

優勝	1年 4組 (紫)
準優勝	1年 11組 (赤)
3位	1年 9組 (青)

2学年

優勝	2年 1組 (水)
準優勝	2年 11組 (黄)
3位	2年 8組 (白)

3学年

優勝	3年 10組 (黄)
準優勝	3年 8組 (橙)
3位	3年 7組 (水)

○学年種目

1学年

優勝	1年 9組 (青)
準優勝	1年 11組 (赤)
3位	1年 5組 (緑)

2学年

優勝	2年 1組 (水)
準優勝	2年 6組 (赤)
3位	2年 11組 (黄)

3学年

優勝	3年 10組 (黄)
準優勝	3年 11組 (緑)
3位	3年 4組 (茶)



選手宣誓



兄弟ブロックの解艇式